

地域おこし協力隊 マンスリーレポート

2026年4月号

林業・木材産業の先進事例視察

林業・木材産業の先進事例を学ぶため、オーストリアを視察しました。

滞在中は、現地の森林施業現場や製材所、木造建築物などの見学を行いました。特に印象深かったのは、木材の持つ本来の性能を最大限に活かすため、伐採から製材、建築工法にいたるまですべてのプロセスに強いこだわりを持つ企業の取り組みです。



施業現場の視察



有害物質を使用しない木造のホテル

現代の住宅建築では、ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンといった人体に有害な揮発性有機化合物を含む接着剤等が多用され、シックハウス症候群などの健康被害がしばしば問題となっています。しかし、今回視察した企業では、そうした悪影響のある物質に頼らない、真に持続可能で健康的な建築を実践していました。

かつての日本でも、木や竹、土といった自然素材のみを用いた住宅建築が当たり前に行われていましたが、近代化や効率化が進むにつれ、化学物質を含む建材へと置き換わり、人々の健康や住環境に影響を与えるようになりました。

「木をどう伐るか」という川上の視点だけでなく、「自分たちの伐った木がどのように使われるか」という川下の視点までつながっているからこそ、木材に高い価値が生まれるということを学びました。今回の視察で得た知見を生かし、国産材の価値向上に取り組んでいきたいと思えます。

【問い合わせ】

藤岡市 森林課 | 〒375-0037 藤岡市三本木575-1 | 0274-50-4441

Instagramで日々の活動を発信中→

